

平成28年度林野庁委託事業報告書を掲載します

都市の木質化に向けた新たな製品・技術の開発・普及委託事業
「CLTを免震架台として使用するCLT中高層建築物の開発」

2017年12月7日
スターツCAM株式会社

スターツCAM免制震構造研究所は、平成28年度林野庁委託事業者に選定され、日本大学理工学の協力のもと、木質材料CLT（※）を使用した免震架台の実験および開発を行いました。実大スケールでのCLT免震架台の振動実験は前例がなく、新たな部材を利用するにあたっての貴重なデータを取得することができました。

この事業概要および事業報告書を掲載いたします。本事業に関する成果は事業報告書の形式で平成29年3月に林野庁へ報告した他、日本建築学会への論文投稿、同年9月に開催された広島工業大学での発表会での講演でも発信しております。

地震の揺れを軽減し、建物への衝撃を減らす免震構造とCLTの組み合わせは、接合部の簡略化の観点から、木造建築の中高層化の実現に資するものと考えております。実際の建物への適用に向けて、今後も更なる研究開発に努めてまいります。

※CLT（（Cross Laminated Timber）木目が見えるように切断加工した板を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です。寸法安定性があり、耐震性や断熱性にも優れ、壁や床の面材に適しています。海外では近年急速に普及が進み、カナダでは中高層建築にも使用されています。

国内でも人工林の伐採と育成の循環を促し、地方の産業・雇用振興の観点から注目され、林野庁を中心に都市の木質化に向けた技術開発が行われています。

以上